

## 令和3年度第1回丹波市社会教育委員の会議次第

日時：令和3年7月12日（月）

午後2時～

場所：山南住民センター 集会室

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員自己紹介・職員自己紹介
- 4 役員選出
  - (1) 兵庫県社会教育委員協議会  
副会長（ 議長 ）
  - (2) 丹波地区社会教育委員協議会  
会長（ 議長 ）、理事（ 副議長 ）、監事（ ）
  - (3) 丹波市アートコンペティション実行委員会（1名、2年／期）  
委員（ ）
- 5 報告事項
  - (1) 令和2年度事業報告・令和3年度事業計画について
  - (2) 社会教育委員の令和2年度活動報告・令和3年度活動計画について
- 6 協議事項
  - (1) 令和3年度社会教育関係団体補助金について
  - (2) 丹波市の社会教育と会議のあり方について
  - (3) 丹波地区社会教育委員協議会 研修会について
  - (4) 教育委員会広報「教育たんば」について
- 7 その他
  - (1) 各課からの連絡事項
  - (2) その他
- 8 閉 会

## Ⅱ（１） 家庭教育の充実

実績		
事業名	事業内容	担当課
PTCA活動実践交流大会	日時：令和2年11月29日（日） 青少年育成研修会と併せて開催 場所：春日文化ホール 参加者数：94名 内容：上久下小学校PTA・北小学校PTA・春日中学校PTAによる実践発表	教育総務課
成果（実績・分析）		
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場制限を行ったうえでの開催となり、例年よりも参加者数が減少したが、動画配信を行ったことで当日参加できなかった方にも観ていただくことができた。また、コロナ禍におけるPTA活動について発表いただいたことで、今後のPTA活動の在り方について考える機会になった。		教育総務課
課題（今後の方向性・改善等）		
学校での教育活動について、保護者や地域の方に知ってもらえる機会を設け、地域・家庭・学校が情報や課題を共有し、地域とのつながりのなかで家庭教育が行われるよう推進する。		教育総務課

計画		
事業名	事業内容	担当課
リーダー研修会	日時：8月下旬頃を予定 参加対象者：小中学校PTA役員、学校運営協議会ほか 内容：昨年度タブレットパソコンが導入されたことから、ICT教育に関する講演会を開催することで、学校の教育活動への理解を深めるとともに、家庭でのルールづくり、情報モラルなどについての対応策を学ぶ機会とする。	教育総務課

## Ⅱ（２） 地域の将来を担う人づくり

実績		
事業名	事業内容	担当課
活躍市民によるまちづくり事業支援	市民の提案により地域の課題解決や地域の活性化を目的とする事業で、事業の継続や発展が将来的に認められるものに対して、補助金を交付する。令和2年度は、13団体から事業提案があったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、8団体に補助金を交付し活動を支援した。 交付額合計：1,376,000円	市民活動課
社会教育関係団体活動支援	丹波市子ども会育成協議会の活動として、小中学生対象に地元の高校生を講師とした「子ども科学教室」を開催した。（参加者数：子ども36人、大人27人 合計63人）	市民活動課
少年少女スポーツ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>市スポーツ協会を通じ、少年少女スポーツ団体連絡協議会から施設利用や市のスポーツ環境などに関してご意見・要望をいただいた（主な要望：学校開放事業の利用限定の緩和や施設管理の徹底。スポーツクラブ21の充実強化など）。</li> <li>新型コロナウイルス感染症予防対策を講じ、安全にスポーツを楽しめる環境を整えるとともに、スポーツ協会や市のホームページを通じて感染症予防のための情報配信に努めた。</li> </ul> ※少年少女スポーツの指導者研修会開催回数0回（中止）	文化・スポーツ課
成果（実績・分析）		
活躍市民によるまちづくり事業応援補助金は、申請団体の約半数が事業中止や縮小した。「子ども科学教室」は初めての取組であったが、高校生が大人や小中学生に、分かりやすく工夫を凝らした説明を行うことができ有意義な事業となった。		市民活動課
少年少女スポーツ活動の指導者の資質向上を目的とした研修会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止したが、スポーツ協会や市のホームページを通じて感染症予防のための情報発信に努めた。		文化・スポーツ課
課題（今後の方向性・改善等）		
子どもの成長を支える活動に参加する大人を増やすために、子どもを対象とした事業を継続して実施するなかで、保護者だけでなく、各自治会の子ども会役員をはじめ、地域の大人も参加ができ、かつ気づきが得られるような仕組みを構築していく。また、将来を担う人材づくりの観点から、高校生など若い世代の人材育成に対する取組を推進する。		市民活動課
今後のスポーツ活動においても新型コロナウイルスの感染予防対策が必要なことから、コロナ禍のスポーツ活動の注意点やガイドラインを周知することにより、ウィズコロナ時代に対応したスポーツ活動を推進する。		文化・スポーツ課

計画		
事業名	事業内容	担当課
社会教育関係団体活動支援	丹波市子ども会育成協議会により、地元の高校生や地域の大人を講師とした親子参加型の子ども科学教室や野外活動事業を実施する。	市民活動課
少年少女スポーツ活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく安全なスポーツ活動を行うため、市スポーツ協会にて「熱中症予防」「AED講習会」などを開催し、少年少女スポーツ活動の指導者のスキルアップに努める。</li> <li>少年少女スポーツ団体連絡協議会からの要望を受け、関係課と連携しながらスポーツ環境の向上をめざす。</li> </ul>	文化・スポーツ課

## II(3) 学びの成果を活かせる社会教育

実績		
事業名	事業内容	担当課
TAMBA地域づくり大学	丹波市内の地域や住民の興味関心に沿った6テーマを設定し、各テーマ2回ずつ計12回の講座を開催した。(延べ受講者数:112名) また、講座で学んだことを地域づくりや個人の行動につなげるためにワークショップを2回開催した。(延べ参加者数:21名) 【テーマ】 ①空き家 ②獣害 ③防災 ④支え合い ⑤メディア ⑥本	市民活動課
TAMBAシニアカレッジラジオ教養講座	TAMBAシニアカレッジは、新型コロナウイルス感染症対策のため全講座中止としたが、自宅に居ながら学ぶことができるラジオ教養講座を開催した。 ・放送日:月1回(再放送1回)の年間7回 ①健康:健康長寿の秘訣はフレイル対策から ②地域づくり:地域で生きる、地域と生きる ③健康:お家でいきいき健康体操 ④生涯学習:方言・ことばの不思議と面白さ ⑤丹波史:日本のバレーボールの礎を築いた男「西川 政一」 ⑥生き方:人生を変えた10行の手紙 ⑦健康:『命の入り口』～まさかの口と身体の繋がり～	市民活動課
自治公民館活動補助金交付事業	事業説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたが、事業実施相談会を12日間(24回)開催した。 ・交付対象事業(令和2年度から変更) ①人権意識を高める学習活動事業 ②地域コミュニティ形成のための事業 ※令和2年度に限り、どちらか一方のみの実施でも可 ・交付自治会数(令和元年度) 202自治会(273自治会) ・交付額(令和元年度) 8,189千円(14,367千円)	市民活動課
地域高齢者学級の支援	市内5地域の地域高齢者学級の連絡会議を開催し、地域で学ぶ高齢者の活動を支援した。また、生涯学習振興補助金を交付し高齢者学級の運営支援を行った。 ・連絡会議開催 3回 ・広報の掲載 12回 ・生涯学習振興補助金交付 1,920,000円(5団体)	市民活動課
市民活動団体や地域づくり団体支援	市民活動支援センターにおいて、市民活動や地域づくり活動を行う団体を支援するための事業を実施した。また、新しい生活様式に対応した地域活動を促進するため、ICT活用事業を行った。 ・大交流会の開催(12月12日) 参加者 約400人 ・情報発信:Facebook141件、ポータルサイト29件、センター情報誌6回/年発行 ・自治協議会への訪問・支援197回、市民活動団体への訪問・支援30回	市民活動課

成果（実績・分析）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、市が主催する講座は、中止・縮小を余儀なくされた。こうした中、シニアカレッジは、自宅においても学習に取り組める「ラジオ講座」を実施し、新しい生活様式に合わせた学習スタイルを構築することができた。また、ICTを活用した地域活動を促進するための事業を実施し、オンライン会議や研修を行う団体の支援ができた。自治公民館活動補助金事業において、実施数、交付金額ともに昨年度と比較して大きく減少しているが、人権啓発資料の配布と感想文を回収する方法や感染予防策を講じ、外で行う事業への変更など、工夫した活動がみられた。	市民活動課
課題（今後の方向性・改善等）	
市主催事業においては、新しい生活様式に対応した新しい学習方法として、ICTを活用した学習を実施する必要がある。一方で、高齢者を中心とした情報リテラシーやメディアリテラシーの向上が必要である。また、地域における学習活動や個人の学習活動を継続していくためにも、感染予防対策を講じた学習スタイルの紹介や新しい生活様式に合わせた好事例の紹介を行う必要がある。	市民活動課

計画		
事業名	事業内容	担当課
TAMBA地域づくり大学	地域づくりや市民活動に積極的に参加・参画し課題解決に取り組む人材を育成する。 ・講座回数 8回 ・講座内容 ①地域課題の解決に取り組むための講座。 ②地域活動を支援するための講座。	市民活動課
TAMBAシニアカレッジ教養講座	新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえながら、時期をみて開催する。（年間10回程度） 講座内容：高齢者が、学んだ成果を地域における様々な活動に活かすことができるような講座を実施する。	市民活動課
TAMBAシニアカレッジラジオ教養講座	高齢者が自宅で気軽に学ぶことができるためのラジオ教養講座を開催する。 ・放送回数 年10回（6月～3月：月1回）※再放送あり ・放送内容 生涯学習、食生活、生き方、健康、歴史、園芸など高齢者を取り巻く現在の課題をテーマとする。	市民活動課
自治公民館活動補助金交付事業	・自治公民館活動補助金の交付 市内298自治会に対し自治公民館活動補助金申請案内を送付し、申請のあった自治公民館に対し補助金を交付する。 ※交付金額（上限） 均等割40,000円 戸数割 250円×戸数 ・自治公民館活動研修会 公民館長や公民館主事を対象とした公民館活動研修会を開催し、より充実した公民館活動の促進を図る。 日時：令和3年10月以降（予定） 場所：ポップアップホール・春日文化ホール 内容：講演「自治公民館活動とは（仮）」	市民活動課
地域高齢者学級支援	市内5地域の地域高齢者学級の連絡会議を開催し、地域で学ぶ高齢者の活動を支援する。また、生涯学習振興補助金を交付し高齢者学級の運営支援を行う。 ・連絡会議開催 3回 ・広報の掲載 12回	市民活動課
市民活動団体や地域づくり団体支援	市民活動支援センターにおいて、市民活動や地域づくり活動を行う団体を支援するための事業を実施する。 ・市民活動を行う人たちが集う大交流会の開催 ・Facebook、ポータルサイトによる市民活動の情報発信やセンタ情報誌の発行 ・自治協議会、市民活動団体への訪問・支援を行う。	市民活動課

## II(4) 文化芸術に親しむところ豊かな市民生活の醸成

実績		
事業名	事業内容	担当課
日本のポスター展 ―あの頃のゆめとあこがれ―	<p>会期：6月2日（火）～7月5日（日）                      内容：江戸時代の商用広報としての引き札から、戦後、亀倉雄策が製作した東京オリンピックポスターや、現在に至るまでの日本の近代化の歩みをポスター135点により紹介。</p> <p>入館者：781人（当初目標値 4,000人）</p> <p>■鑑賞教室                      学校数：小学校1校、中学校1校                      実施回数：3回 参加者：71人</p> <p>■開会式、講演会【中止】                      ■ミュージアムシアター（映画会）【中止】                      ■ワークショップ【中止】、伍芳コンサート【中止】                      ■赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー【中止】</p>	植野記念美術館
日本アニメーション美術の創造者 山本二三展 ―天空の城ラピュタ、火垂るの墓、もののけ姫、時をかける少女―	<p>会期：7月18日（土）～9月13日（日）                      内容：日本のアニメーション界を牽引するスタジオジブリが製作する作品の多くにおいて精緻な背景画を描く山本二三のジブリ作品を特集する展覧会。</p> <p>入館者：13,488人（当初目標値 8,000人）</p> <p>赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー「くもの上に もりの中へ」（日時）7/28（火）・8/7（金）・9/3（木）10～11時（参加者）14組 42人</p> <p>■鑑賞教室                      学校数：小学校3校、こども園2園、レインボー教室                      実施回数：12回 参加者：414人</p> <p>■団体観覧                      学校数：中学校2校、こども園1園、レインボー教室 但馬やまびこの郷                      実施回数：5回 参加者：108人</p> <p>■開会くす玉割り【中止】                      ■山本二三 トークショー・サイン会／デモンストレーション（ライブペインティング）【中止】                      ■ミュージアムシアター（映画会）【中止】                      ■ワークショップ 夏休み工作教室【中止】</p>	植野記念美術館
秋季館蔵品展 山のある風景―ゆかりの作家が描く世界の名山と故郷のやまなみ― ＜併催＞新規収蔵作品展	<p>会期：10月24日（土）～12月25日（金）                      入館者：2,054人（当初目標値 3,000人）</p> <p>■関連イベント                      併催「第2回UEBI ART展 ―臼井邦昭―」                      会期：11月14日（土）～11月23日（月・祝）</p> <p>■赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー                      日時：11月26日（木）・12月8日（火）10～11時                      参加者：5組 11人</p> <p>■団体観覧                      学校数：小学校1校・こども園1園・氷上特別支援学校 小学部 実施回数：3回 参加者：81人</p>	植野記念美術館

<p>李 行簡展 ー新しい中国 画への誘いー</p>	<p>会期：1月16日（土）～3月14日（日） 内容：李 行簡美術館より屏風、衝立、襖を含む約50点の作品を借用し、氏が旺盛に制作を行っていた時期の作品を中心にその画業を紹介。 入館者：1,222人（当初目標値）3,000人 ■開会記念講演会「李行簡の絵画についてー新しい中国画への誘いー」 日時：1月16日（土） 講師：陳 允陸氏（墨彩画家） 会場：植野記念美術館 研修室 参加者：18人 ■伍芳バレンタインコンサート 日時：2月14日（日）13時30分～ 会場：植野記念美術館 2階 エントランスホール 参加者：50人 ■赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー「お山のパーティーはじまるよ！」 日時：2月3日（水）・3月4日（木）10時～11時 参加者：3組 7人 ■団体観覧 学校数：中学校1校 実施回数：1回 参加者：20人</p>	<p>植野記念美術館</p>
<p>文化ホール事業</p>	<p>・新型コロナウイルス感染予防のため中止する事業もあったが、鑑賞型公演は全18事業のうち11事業を実施した。 ・アマチュアアーティスト育成支援事業(4フェスタ：バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓)は、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。 ※文化ホール事業の来館者数 R2年度 7,841人 (R1年度 18,842人、H30年度 21,414人)</p>	<p>文化・スポーツ課</p>
<p>アートコンペティション</p>	<p>広く市内外から創作意欲あふれる独創的な作品を募集・展示することにより、市民の文化芸術に対する関心を深め、文化活動を促進した。 ※丹波アートコンペティション作品応募数 R2年度 全体293点[市内94点]。R1年度 全体 246点[市内105点]。 ※アートスパイス(R3.2.11) 写真21名、書9名参加。</p>	<p>文化・スポーツ課</p>
<p>成果（実績・分析）</p>		
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月10日より6月1日まで美術館を臨時休館したため、自宅学習支援情報として美術館のHP上で『日本のポスター展「アートカードであそぼう」』を公開し読み札にあったポスターを探し当てる「アートカードによる作品の紹介」を行った。また、休館中に自宅で楽しめる企画として美術館外観のぬりえイラストを公開し、完成したぬりえを郵送で送ってもらい、美術館のHP上に「ウェブ展覧会」として掲載した。 「山本二三展」は、ジブリ映画の背景画ということもあり、家族連れ、若者、中高年と幅広い年齢層に人気があり、入館者数では歴代3位の13,488名の入館者があった。来館者の特徴としては、約7割が市外在住者で、初めて来館される方も多数あり、美術館をPRする良い機会となった。</p>		<p>植野記念美術館</p>
<p>ホール事業は、文化芸術の鑑賞・体験の機会を確保するため、映画会や一部の自主事業を、検温・消毒、換気の徹底等の感染症防止対策を講じて実施することができた。 アートコンペティションは、実行委員会を4回開催し、PRチラシのデザインや作品募集要項、美術講座実施内容などについて協議を行い事業の充実・改善を図った。出品数・来館者数共に前回より増加し、文化芸術活動への広域交流を図ることができたが、市民の出品者が減少した。</p>		<p>文化・スポーツ課</p>

課題（今後の方向性・改善等）		
「日本のポスター展」では展示内容を紹介する動画を作成したが、著作権の問題があり、インターネット上で公開することが出来なかったため、今後の課題として研究したい。 「山本二三展」等で初めて植野記念美術館へ来館された方にリピーターになっていただけるような手立てを検討する必要がある。	植野記念美術館	
ホール事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全性を高めることで市民が安心して鑑賞できる環境の充実を図り、文化芸術に対する市民意識の回復に努める。 アートコンペティションは、広く市内外から作品募集を行い出品数・レベルも増加しているが、市民の出品数が増加するような取組を検討・実施する必要がある。	文化・スポーツ課	

計画		
事業名	事業内容	担当課
アニメサザエさんとともに50年 エイケン制作アニメーションの世界	会期：令和3年3月27日（土）～6月27日（日） ■開幕記念講演会 日時：3月27日（土）13時50分～ 講師：(株)エイケン 三井洋子氏（展覧会監修者） 演題：「エイケン50年のアニメ作り」 ■エイケン制作アニメーションシアター 会期中の土曜・日曜・祝日（3月27日（土）は除く） 【午前】10：30～12：10【午後】13：30～15：10 ①「鉄人28号」②「サザエさん」③「キャプテン」 ④「ガラスの仮面」	植野記念美術館
宮西達也Newワンダーランド展 ハンテコリンな絵本の仲間たち	会期：令和3年7月17日（土）～9月5日（日） 内容：おとうさんはウルトラマンシリーズ、ティラノサウルスシリーズで著名な絵本作家の巡回展をアレンジ。ティラノサウルス、バルタン星人など恐竜怪獣シリーズを中心に再構成。ユーモアと哀愁が込められた作風で、大人も子どもも楽しめる展覧会。	植野記念美術館
広重展 一天才浮世絵師が描く日本名所紀行一	会期：令和3年9月18日（土）～11月14日（日） 内容：広重の名を不動のものにした保永堂版「東海道五十三次」をあらためて全作を紹介するとともに、丹波鐘ヶ坂を含む「六十余州名所図会」、「木曾街道六十九次」、「名所江戸百景」等で日本を旅する。	植野記念美術館
寅年・新春記念展 一丹波を訪れた巨匠たち四人一	会期：令和3年1月15日（土）～3月13日（日） 内容：豊かな穀倉地帯である丹波の地に足跡を残した4人の近代日本画家（幸野樺嶺・小川芋銭・富岡鉄斎・大橋翠石）を取り上げて丹波市に残る作品を中心に紹介する。	植野記念美術館
文化ホール事業	新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全性を高めることで市民が安心して鑑賞できる環境の充実を図り、文化芸術に対する市民意識の回復に努める。 ※自主事業（鑑賞型）16事業 ※アマチュアアーティスト育成支援事業 4事業	文化・スポーツ課
アートコンペティション	市民の出品者が減少しているため、市民の出品数が増加するような取組を検討・実施する。中学校美術部や芸術系大学・専門学校などへのピンポイント的な広報に重点を置き、若い世代からの作品応募を促す。 ※入賞・入選作品展（予定）：春日文化ホール、植野記念美術館 ※ワークショップ体験講座	文化・スポーツ課

## II(5) 暮らしにとけこむ図書館づくり

実績		
事業名	事業内容	担当課
大きなおはなし会	<p>図書館等で活動される読み聞かせボランティアグループ合同による「大きなおはなし会」を開催した。</p> <p>大きなおはなし会への参加をきっかけに毎月開催するおはなし会に参加してもらうことにより、図書館に足を運んでもらい、本に親しむことを目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大きなおはなし会 日時：令和2年12月12日（土） 場所：市民プラザ 参加者：50名</li> </ul>	中央図書館
家庭読書の日 (毎月23日)	<p>子どもの読書活動についての関心と理解を深め、家庭で親子と一緒に読書の楽しみを体験できる環境づくりを推進するために、毎月23日を「家庭読書の日」として周知を行った。</p> <p>家庭で、親子で一緒に読書をする手助けとして、「おすすめの本のリスト」や「読書通帳」の配布を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読書通帳配布数 図書館窓口</li> <li>子ども用 892冊</li> <li>大人用 141冊</li> <li>小学1年生 子ども用 820冊</li> <li>中学1年生 大人用 620冊</li> </ul>	中央図書館
図書館サポーター養成講座、及びサポーター活動	<p>サポーターとして新規登録していただける市民を増やすために、活動の内容を説明する養成講座を開催した。</p> <p>図書館業務で市民の支援を得ることが可能な業務については、市民と協働し図書館運営を行っていった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サポーター養成講座 日時：令和2年9月12日（土） 場所：中央図書館 参加者：3名（新規登録3名） 図書館サポーター登録者数 54名 延べ活動人数 196名</li> </ul>	中央図書館
子ども司書養成講座	<p>9月から1月までの期間に図書館業務に係る内容の講義を7回行った。6回以上出席で、課題を提出した児童を「子ども司書」として認定した。</p> <p>認定後の活動として、例月のおはなし会に参加し読み聞かせを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>募集人数：10名、応募者：9名、認定者：9名</li> </ul>	中央図書館
市民プラザとの連携	<p>市民プラザとの連携事業として、市民プラザ内で大きなおはなし会、リサイクルフェアを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクルフェア 日時：令和2年12月12日（土） 場所：市民プラザ 販売冊数：600冊</li> </ul>	中央図書館
成果（実績・分析）		
<p>コロナ禍において利用者が減少する中、図書館事業全般にコロナに対応する工夫を加えサービスの提供を行った。</p> <p>また、新たな取組として市民プラザと連携を図り、大きなおはなし会、リサイクル市を開催し、図書館をより多くの市民に知っていただくことができた。</p>		中央図書館
課題（今後の方向性・改善等）		
<p>新型コロナ感染対策により2年度中止となった事業について、次年度以降対策を行ったうえで事業が実施できるように内容の見直しを図る必要がある。</p> <p>また、市民がコロナ禍においても図書館を安心して利用できる環境整備を図っていく必要がある。</p>		中央図書館

計画		
事業名	事業内容	担当課
大きなおはなし会	図書館等で活動される読み聞かせボランティアグループ合同による「大きなおはなし会」を開催する。 大きなおはなし会への参加をきっかけに毎月開催するおはなし会に参加してもらうことにより、図書館に足を運んでもらい、本に親しむことを目指す。	中央図書館
家庭読書の日 (毎月23日)	子どもの読書活動についての関心と理解を深め、家庭で親子と一緒に読書の楽しみを体験できる環境づくりを推進するために、毎月23日を「家庭読書の日」としてPRする。また、その方法を工夫し積極的な周知を行う。 家庭で、親子と一緒に読書をする手助けとして、「おすすめする本のリスト」や「読書通帳」の配布を行う。	中央図書館
図書館サポーター養成講座、及びサポーター活動	サポーターとして新規登録していただける市民を増やすために、活動の内容を説明する養成講座を開催する。 図書館業務で市民の支援を得ることが可能な業務については、市民と協働し図書館運営を行っていく。	中央図書館
子ども司書養成講座	6月から12月までの期間に図書館業務に係る内容の講義を7回行う。6回以上出席で、課題を提出した児童を「子ども司書」として認定する。 認定後の活動として、例月のおはなし会に積極的に参加して読み聞かせが行っていただけるように支援を行う。 募集人数：10名	中央図書館
市民プラザ、文化財課、美術館との連携	市民プラザ、文化財施設を活用したおはなし会や事業の開催により、広く図書館をPRする。美術館の企画展示に連携した資料の展示やおはなし会を開催し、新たな利用者の増加を図ります。	中央図書館

## II(6) 歴史文化遺産の保存・活用と継承

実績		
事業名	事業内容	担当課
神戸大学連携事業 歴史講座・古文書 相談会	神戸大学大学院人文学研究科との共同研究による古文書等の歴史資料調査及びその成果を市民へ発表する。 ■歴史講座 8月1日(土)「140年前の精進料理献立 - 法楽寺文書を中心に -」 講師 山内順子氏 於ライフピアいちじま 参加者27名 9月26日(土)「学生の手紙にしたためられた明治の歴史」 講師：松下正和氏 於春日住民センター 参加者30名 11月21日(土)「地域資料から見る寺社の勤進活動」 講師：井上舞氏 於氷上住民センター 参加者19名 12月12日(土)「柏原藩政日記を読む」 講師：加藤明恵氏 於柏原住民センター 参加者25名 2月6日(土)「地域史料から見る江戸時代の山論と人々」 講師出水清之助氏・平岩泰典氏 於青垣住民センター参加者24名 3月13日(土)「絵図からみる山南の歴史」 講師：木村修二氏 於山南住民センター 参加者22名  後日、動画配信及び歴史講座ミニ企画展(3回)を開催した。	文化財課
春日歴史民俗資料館 企画展 「丹波市の中世城館」	市内の中世城館に関する資料の展示 10月31日(土)～12月6日(日) 入館者440名 ■関連講座 11月29日(日) 「荻野直正に關係した城郭の考察」 講師：高橋成計氏(城郭談話会) 参加者39名 後日、動画配信を行なった。	文化財課
青垣いきものふれあいの里 企画展	「春の山野草展」4月4日(土)～4月9日(木) 入館者59名 「淡水魚と水辺の生き物展」6月6日(土)～7月5日(日) 入館者520名 「昆虫展」7月18日(土)～8月30日(日) 入館者1,385名 「秋の里山植物展」9月12日(土)～11月3日(火) 入館者718名 「里山の動植物展」12月5日(土)～12月20日(日) 入館者156名 「つる植物作品展」1月30日(土)～3月21日(日) 入館者551名	文化財課
青垣いきものふれあいの里 自然観察会	むしとりペナントレース：8月8日(土) 参加者61名 夏の星座観察会：8月22日(土) 参加者45名 シダ植物観察会：10月3日(土) 参加者11名 秋の自然観察会：10月24日(土) 参加者17名 ミニ門松づくり：12月19日(土) 参加者28名 冬の樹木観察会：1月23日(土) 参加者8名 つるのかごづくり講習会：2月7日(日) 参加者10名 野鳥観察会：2月21日(日) 参加者32名 里山ウォーキング：3月20日(土) 参加者8名	文化財課
氷上回廊水分れワールドミュージアム 開館	3月20日(土・祝) 記念式典・開館 ■講演会 講師：さかなクン 場所：春日文化ホール 演題：「さかなクンのギョギョッとびっくり!! お魚講座 ～お魚と環境について～」  参加者：300名	文化財課

成果（実績・分析）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となり、企画展やそれ以降の講座等例年どおりの活動ができないこともあったが、動画配信など新たな取組を実施し、講座に来られない方でも聴講が可能となった。</li> <li>・氷上回廊水分れフィールドミュージアムを開館し、建物と展示の改修を行った。</li> </ul>	文化財課
課題（今後の方向性・改善等）	
<p>青垣いきものふれあいの里と水分れフィールドミュージアムの共同事業など、関連施設として相乗効果が出せるような連携等を考えていく。</p> <p>博学連携により、リピーターの確保、地域活性化の一助となる活動を推進する。</p>	文化財課

計画		
事業名	事業内容	担当課
神戸大学連携事業 歴史講座・古文書相談会	<p>■歴史講座・古文書相談会</p> <p>7月17日（土）「山南地域に残された高札 - 2020年度発見資料から -」 講師 井上舞氏 於 山南住民センター</p> <p>8月28日（土）「江戸時代の村の仕組みと運営について - 松森村の事例から -」 講師 松下正和氏 於 春日住民センター</p> <p>9月25日（土）「生類憐みの令と上竹田の人々」 講師 山内順子氏 於 ライフピアいちじま</p> <p>10月30日（土）「細見家文書からみる地域の歴史」 講師 出水清之助氏 於 青垣住民センター</p> <p>12月11日（土）「柏原歴史民俗資料館所蔵資料を活用しよう！（仮）」 講師 加藤明恵氏 於 柏原住民センター</p> <p>2月26日（土）「丹波市域の鉱山について（仮）」 講師 井上舞氏 於 氷上住民センター</p> <p>■市内古文書調査</p>	文化財課
歴史民俗資料館企画展 ユネスコ無形文化遺産登録記念 匠の技：檜皮葺の技術と歴史（仮）	企画展「檜皮葺の技術と歴史」（仮）：秋頃	文化財課
青垣いきものふれあいの里 企画展	<p>春の山野草展：4月3日（土）～5月5日（水）</p> <p>淡水魚と水辺の生き物展：6月5日（土）～7月4日（日）</p> <p>むし・虫・蟲展：7月17日（土）～8月29日（日）</p> <p>秋の里山植物展：9月11日（土）～11月3日（水）</p> <p>里山の動物展：12月4日（土）～12月19日（日）</p> <p>つる植物作品展：1月29日（土）～3月21日（月）</p>	文化財課
青垣いきものふれあいの里 自然観察会	<p>春の自然観察会：4月10日（土）</p> <p>梅雨の自然観察会：7月3日（土）</p> <p>河原探検：7月24日（土）</p> <p>夏の星座観察会：8月7日（土）</p> <p>むしとりペナントレース：8月21日（土）</p> <p>鳴く虫の観察会：9月25日（土）</p> <p>シダ植物観察会：10月2日（土）</p> <p>秋の自然観察会：10月30日（土）</p> <p>ミニ門松づくり：12月25日（土）</p> <p>つるのかごづくり講習会：2月6日（土）</p> <p>里山ウォーキング：3月21日（土）</p>	文化財課

<p>氷上回廊水分れフィールドミュージアム企画展</p>	<p>丹波の農業展～丹波の明るい農業・農村～ 5月12日(水)～6月27日(日) 丹波の昆虫展～魅惑のいもむし・けむし展～ 7月24日(土)～8月29日(日) 丹波の産業展：1月上旬～2月下旬</p>	<p>文化財課</p>
<p>氷上回廊水分れフィールドミュージアムフィールドワーク・ワークショップ</p>	<p>桜香るまち歩き&amp;アレンジメント：4月3日(土) コケテラリウム：5月15日(土) 母の日アレンジメント：5月29日(土) 初夏の夜空観察会：6月12日(土) ナイトミュージアム&amp;ホテル観察：6月19日(土) 夏の昆虫採集：8月14日(土) 自由研究相談会 8月随時 昆虫標本づくり：8月14日(土) 木の実・落ち葉クラフト：10月16日(土) 里山の動物たち：10月30日(土) ペーパークラフト：11月6日(土) 上手な写真の撮り方：11月20日(土) リースづくり：12月11日(土) 餅つき大会：1月8日(土) 冬の星空観察会：1月15日(土) 歴史・文化を知る：2月19日(土)</p>	<p>文化財課</p>

## Ⅱ(7) 豊かな人権文化を創造する人権教育

実績		
事業名	事業内容	担当課
住民人権学習	各自治公民館の活動として住民人権学習を実施 実施数：170自治会 (R1 274自治会) 実施率：56.9% (R1 91.6%) 参加者：4,870人 (R1 7,726人)	人権啓発センター
住民人権学習支援者研修会	住民人権学習の支援者に対し、外国人の人権やSNSに関する講演、人権学習DVD「サラーマット」の視聴 開催日：令和2年11月11日 対象者：164人 (R1 162人) 出席者：112人 (R1 105人) 出席率：68.3% (R1 64.8%) 講師：(公財)兵庫県人権啓発協会研修講師	人権啓発センター
住民人権学習推進員研修会	住民人権学習推進員に対し、基本的人権や人権学習の必要性、コロナ禍における学習会の進め方などについて説明 開催日：令和2年10月15日、19日、20日 対象者：402人 (R1 315人) 出席者：159人 (R1 190人) 出席率：39.6% (R1 60.3%) 講師：畑田久祐まちづくり指導員	人権啓発センター
企業・事業所人権学習会支援事業	市内の事業所に対して人権学習会の講師を派遣 派遣数：2事業所 (R1 3事業所) 参加者：63人 (R1 89人)	人権啓発センター
成果(実績・分析)		
令和2年度は、新型コロナウイルスの感染防止を図るため、学習会の中止や縮小されたケースがあり、住民人権学習会や研修会の参加者は減少した。また、地域人権教育事業と丹波市中学校人権学習交流集会を中止したため、例年どおりの成果は得られなかった。		人権啓発センター
課題(今後の方向性・改善等)		
新型コロナウイルスの感染防止を図りつつ、あらゆる場における人権教育を推進していく必要がある。		人権啓発センター

計画		
事業名	事業内容	担当課
住民人権学習	各自治会において実施方法、内容を決定し、自治公民館活動として実施	人権啓発センター
住民人権学習支援者研修会	住民人権学習支援者の役割についての説明、人権学習DVD教材「カンパニユラの夢」の視聴、8050問題についての講義等	人権啓発センター
住民人権学習推進員研修会	住民人権学習の必要性、住民人権学習推進員の役割、人権学習DVD教材「カンパニユラの夢」の視聴及び学習の進め方等の講義	人権啓発センター
企業・事業所人権学習会支援事業	企業・事業所が主体的に実施される人権学習に講師を派遣	人権啓発センター
地域人権教育事業	各中学校区推進委員会に事業を委託して実施 委託費1校区200千円上限	人権啓発センター
丹波市中学校人権学習交流集会	同和問題や平和などについての講演会、分散会(各学校の取組発表・意見交換)、全体会(分散会の発表)	人権啓発センター

## Ⅲ(1) 地域とともにある学校づくりの推進

実績		
事業名	事業内容	担当課
コミュニティ・スクールの充実（地域学校協働活動推進員の配置）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年9月に、4名の地域学校協働活動推進員を委嘱。</li> <li>令和2年11月26日（木）開催の「丹波市コミュニティ・スクール連絡会」で、地域学校協働活動推進員制度の説明を実施。</li> <li>「学校と地域でつくる学びの未来を考える勉強会」の開催 日時：令和3年3月27日（日） 講師：CSマイスター 岸 裕司 氏 内容：学校・家庭・地域の協働のよりよい形について意見交換、および当面の課題の共有</li> </ul>	教育総務課
コミュニティ・スクールの充実及び導入促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校への導入促進（校内研修・熟議等）</li> <li>学校運営協議会制度の導入校 小学校22校 中学校5校（和田中、青垣中は小中合同）</li> <li>令和2年7月8日 校長会 南小学校学校運営協議会・地域協働活動推進委員の取組報告</li> <li>令和2年11月26日 山南やまなみホール 参加者約90名 丹波市コミュニティ・スクール連絡会の開催 中央小・黒井小学校学校運営協議会の取組発表</li> </ul>	学校教育課
成果（実績・分析）		
広報「教育たんば」3月号で地域学校協働活動推進員の活動を紹介し、地域学校協働活動推進員の認知とともに、学校・家庭・地域の連携・協働体制について認知を広めるよう取り組みました。		教育総務課
「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムの開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止しましたが、校長会で地域と学校の連携した南小学校の取組の紹介やコミュニティ・スクール連絡会での実践発表などにより、各校でのコミュニティ・スクールの活性化につなげることができました。 また、令和2年11月に丹波市コミュニティ・スクール連絡会において、取組事例の発表や、地域学校協働活動推進員制度の説明を実施しました。		学校教育課
課題（今後の方向性・改善等）		
地域学校協働活動推進員制度の導入により、保護者や地域住民の学校運営への参画を促進し、学校・家庭・地域のそれぞれが子育ての当事者となる意識の醸成を図ります。		教育総務課
<ul style="list-style-type: none"> <li>各校の情報交換と学校運営協議会委員長の力量向上を図ることのできる機会を設けることや、中学校区へ導入された学校運営協議会制度が地域の実情に合わせた取組となるように支援することで各校でのコミュニティ・スクールの深化・充実に繋げていきます。</li> <li>地域学校協働活動推進員同士の情報共有や、資質向上の研修のため、推進員協議会を教育総務課とともに実施します。</li> <li>まちづくり部との連携を強化し、「地域とともにある学校づくり」に幅広い地域住民の参画が得られるように協働体制を構築します。</li> </ul>		学校教育課

計画		
事業名	事業内容	担当課
コミュニティ・スクールの充実（地域学校協働活動推進員の配置）	地域学校協働活動推進員に新たに6名の委嘱を予定。	教育総務課
地域から考える学びの未来会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域から考える学びの未来会議」の開催</li> <li>・「地域から考える学びの未来会議 コアメンバー会議」の開催</li> </ul>	教育総務課
コミュニティ・スクールの充実及び深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校への導入促進（校内研修・熟議等）                氷上中学校 令和3年度前期導入予定                山南中学校                令和3年度中に統合中学校準備委員会設置予定</li> <li>・令和3年8月 校長会                地域協働活動推進委員導入校の取組報告（予定）</li> <li>・丹波市コミュニティ・スクール連絡会の開催</li> </ul>	学校教育課

# 令和2年度丹波市社会教育委員活動報告書



## 【丹波市社会教育委員の会議】

事業名	開催期日	会場	事業内容（成果・課題）	備考（連携機関等）
第1回会議	6月25日	氷上住民センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度役員選出</li> <li>令和元年度事業報告</li> <li>令和2年度事業計画 他</li> </ul>	委員出席 10名
第2回会議	12月22日	山南住民センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>松本委員による活動報告</li> <li>教育委員との意見交換 他</li> </ul>	委員出席 8名
第3回会議	3月2日	山南住民センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度丹波市の教育について</li> <li>次年度に向けた研究課題の整理 他</li> </ul>	委員出席 8名

## 【丹波地区社会教育委員協議会】

事業名	開催期日	会場	事業内容（成果・課題）	備考（連携機関等）
総会	書面開催		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度事業、決算報告</li> <li>令和2年度役員選出、事業計画、予算</li> </ul>	
第1回研修会	9月30日	四季の森会館生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修テーマ「地域コミュニティと社会教育について～コミュニティの再編と苦悩～」について意見交流</li> </ul>	委員参加 7名
第2回研修会	10月26日	四季の森会館生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修テーマ「地域コミュニティと社会教育について～向こう三軒両隣～」について意見交流</li> </ul>	委員参加 9名

## 【兵庫県社会教育委員協議会】

事業名	開催期日	会場	事業内容（成果・課題）	備考（連携機関等）
総会・研修会	7月1日	ホテル北野プラザ六甲荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度事業、決算報告</li> <li>令和2年度役員選出、事業計画、予算</li> <li>研修会 演題：「総合行政化に向かう社会教育～ユネスコ学習都市とSDGsを手がかりに～」 講師：関西大学 教授 赤尾 勝己 氏</li> </ul>	委員参加 2名
兵庫県社会教育研究大会	11月18日	兵庫県民会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演 演題：「ほっとかれへん！子ども達の未来、私達の未来 地域の福祉力・教育力を活かした社会教育実践とは？」 講師：大阪教育大学 特任教授 新崎 国広 氏</li> <li>実践発表（阪神南地区、丹波地区、淡路地区）</li> <li>パネルディスカッション「新しい時代の社会教育とは」</li> </ul>	委員参加 1名

## 【全国社会教育研究大会 新潟大会】

事業名	開催期日	会場	事業内容（成果・課題）	備考（連携機関等）
第62回全国社会教育研究大会[新潟大会]	11月12日	アオーレ長岡	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため開催後、動画配信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事例発表</li> <li>記念講演 演題：「当たり前の幸せが響きあう社会」 講師：星野 知子 氏</li> <li>シンポジウム</li> </ul>	

# 令和3年度丹波市社会教育委員活動計画書

## 【丹波市社会教育委員の会議】

事業名	開催期日	会 場	事業内容（成果・課題）
第1回会議	7月12日	山南住民センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育関係団体補助金支出</li> <li>令和2年度事業報告、令和3年度事業計画</li> <li>社会教育委員活動計画</li> <li>「丹波市の社会教育と会議のあり方」 他</li> </ul>
第2回会議	未定		<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育委員の活動 他</li> </ul>
第3回会議	未定		<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度の方針・計画 他</li> </ul>

## 【丹波地区社会教育委員協議会】※丹波市事務局

事業名	開催期日	会 場	事業内容（成果・課題）
役員会	8月下旬頃		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度総会について</li> <li>研修会について</li> </ul>
総会・第1回研修会	9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度事業・決算報告</li> <li>令和3年度役員選出・事業計画・予算</li> <li>研修会（予定）</li> </ul>
第2回研修会	未定		

## 【兵庫県社会教育委員協議会】

事業名	開催期日	会 場	事業内容（成果・課題）
第1回役員会	6月10日	兵庫県立ひょうご女性交流館	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度総会について</li> <li>研修会について</li> </ul>
総会・研修会	7月5日	ホテル北野プラザ六甲荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度事業・決算報告</li> <li>令和3年度役員選出・事業計画・予算</li> <li>研修会</li> </ul>
第2回役員会	10月7日	兵庫県庁周辺施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>兵庫県社会教育研究大会について</li> </ul>
兵庫県社会教育研究大会	11月	兵庫県民会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演</li> <li>分科会別研究協議</li> </ul>

## 【近畿地区社会教育委員協議会】

事業名	開催期日	会 場	事業内容（成果・課題）
近畿地区社会教育研究大会	9月9日	大阪府咲洲庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念講演</li> <li>分科会別研究協議</li> </ul>

## 【全国社会教育研究大会 新潟大会】

事業名	開催期日	会 場	事業内容（成果・課題）
第63回全国社会教育研究大会[石川大会]	10月27日～29日	小松市	<ul style="list-style-type: none"> <li>記念講演</li> <li>シンポジウム</li> <li>分科会</li> </ul>

## 令和3年度 社会教育関係団体補助金執行予定表

令和3年度 担当課名	団体名	令和3年度 予算額	令和2年度 補助金額	令和2年度 収入決算額	補助の目的	主な活動内容
市民活動課	丹波市子ども会育成協議会 (令和2年度会員数:7,964人)	100,000	100,000	466,762 (うち自主財源 の割合:79%)	活動費補助	・子ども科学実験教室
教育総務課	丹波市PTA連合会 (令和2年度会員数:4,228人)	260,000	260,000	1,840,994 (うち自主財源 の割合:81%)	活動費補助	リーダー研修会 他

※ 団体の活動状況を勘案のうえ、予算額の範囲内において、支出決定を行います。

※ 支出根拠要綱は、丹波市社会教育関係団体補助金交付要綱